

定時制午後部教育目標	重点目標(中長期的目標)	上半期の成果
三部からなる定時制の特色と単位制の趣旨とを活かし、生徒・保護者のニーズに応える教育を行う。	単位制の一層の推進・充実を図るとともに、生徒が基礎学力と基本的な生活習慣とを身につけ、着実な学校生活を送ることができるようにする。	
	今年度の重点目標	上半期の成果
	1. 「学び直し」の意欲の尊重と学習・生活の基礎固め 2. 集団生活の中でルールを守る態度の育成 3. 確かな基礎学力の定着と進路指導の充実	

領域	対象	評価項目	評価の観点	上半期の成果
教育 生活 活動 運動	教育課程	開講科目の充実	様々な「学び直し」を願い、未来を拓こうとする生徒の希望を生かすような講座の設定および編成ができたか。	可能な限り希望に添った編成に努めた。多くの公開(社会人聴講)講座を新設できた。
	学習指導	基礎・基本を重視した指導	可能な限りの教科・講座で習熟度別授業を展開し、基礎学力の定着に向けた指導ができたか。 生徒による授業評価を行い、その結果を活用した指導ができたか。	国・数・英の3教科で計8講座の習熟度別授業が展開でき、基礎学力の定着と伸長に努めた。 授業評価については、実施時期と方法について検討中。
		定着を重視した指導	必要に応じ、よりゆっくりとした進捗で、基礎・基本の定着を目指す指導ができたか。	個に即し、基礎・基本の定着を企図した指導に努めた。
		個に即した着実な指導	個に即し、より着実な基礎固めを目指す指導ができたか。	
	生徒指導	ルール・マナーに対する意識の向上	生徒会と連携できたか。 生徒・保護者から信頼される指導よできたか。	生活委員会・生徒会役員と協力した掲示活動で、マナーについての自主的な意識向上に努めることが出来た。
		不登校生徒などへの対応	情報を共有して支援できたか。 保護者との連携が強化できたか。 外部専門家などと連携できたか。	ハローワーク訪問や医療機関の紹介・相談窓口など、外部専門家と連携して、個々の生徒に対する具体的な支援が出来た。 不登校生徒などの「親の会」の企画が出来た。
		暴力やいじめの防止	年次会・職員相互で連携できたか。 生徒・保護者との信頼関係は構築できたか。 人権感覚が向上したか。	担任と生徒との信頼関係により、保護者とも信頼関係が構築できた。体験型の人権教育実施により、生徒が具体的に人権感覚を磨くことが出来た。
	生活	喫煙や薬物防止	校内外の巡視および啓蒙活動よできたか。	外部講師の具体的な話で意識を高めることが出来た。
		交通安全指導	原付通学許可者への講習ができたか。	地域を管轄する交番の協力を得て、実技と講話の講習が出来た。
	進路指導	進路学習の充実	進路講話、1年次進路ガイダンスが実施できたか。 ホームルーム等において「定時制ハンドブック」の活用ができたか。	午後部生徒全員対象に実施した職業選択ガイダンスは進路選択の意識向上に役立った。今後は各HRでハンドブック(進路編)を使い指導したい。
		進路選択意識の向上	就職説明会、学校説明会参加等による進路先研究の指導ができたか。	
		進路実現のための基礎学力の定着	ドリル学習・補習が実施できたか。 長期休業中の課題指導ができたか。	
	生徒会活動	くれき野祭の充実	それぞれの役割分担の中で、多くの生徒が主体的に取り組めたか。	今年度は「おぼけ屋敷」「ファッションショー」「お茶会」などの新しい企画を実施し、また露店の数を増やした。スタッフを募集したところ、午後部でもスタッフを集めることができ、午前部の生徒と協力し合い、活動することができた。 午前部・午後部共同の委員会活動を行った。午後登校のため、登校時間を早め、お昼の時間に一斉委員会を開くなど、各委員会で年間計画に基づいて活動することができた。
		委員会活動の充実	各行事や活動計画に向けて、積極的に取り組めたか。	
学 校 運 営	地域との連携	公開授業をさらに推進するとともに、充実した学校説明会を行ったか。 地域や社会に開かれた学校作りを進めるとともに、社会人の学習機会拡大を企図した講座を設定し、生涯学習の場を提供できたか。	5月に授業参観実施。社会人向けの6講座(うち午後(3)を新設し、聴講生が在校生とともに学習を行っており、好評である。また7月に松本市との共催により、もの作り講座(2講座も開設、好評であった。	
	組織の運営	単位制の一層の充実	「内規集」および「定時制ハンドブック」を全面的に見直すとともに、有効な活用ができたか。	新設後の実態を踏まえ、改訂に向けて検討を重ねている。
		組織の充実	学習指導と進路指導をより充実させるための組織づくりができたか。	検討中。
運 営	校務分掌の検討	仕事の分担は適正だったか。 意見を総括する中で、協力体制を確立できたか。	新体制移行中、各部署間の協力体制がより緊密になった。	
		研修	カウンセリング研修	不登校生徒などへの共通理解を持つことができたか。 上記生徒への適切な対応をおこなうための研修ができたか。
		授業法の研修	学習指導に関する研修の必要性を共有し、機会を設定したか。 校内授業公開を実施し、学習指導の研究に活用できたか。	計画。